

### ◆第5回 テーマ別読解演習「学校空間」①／物語文

今回は物語文の学習で、テーマは学校空間です。物語文ですので、場面の変化や登場人物の心情の変化に注意して、作者が何を言いたかったのか、その主題にせまっていくようにしましょう。学校空間がテーマなので、生徒同士の友情や成長がテーマになることが多いです。今回特に注意してほしい問題は、以下の通りです。

- ⊙ 問四 心情の変化の問題です。具体的に書くようにします。  
問五 理由記述の問題ですが、単に出来事だけでなく、心情も書くようにしましょう。  
問七 暗示・象徴の問題です。物語文ではよく出題されますので、こういう問題の解法をおさえるようにしましょう。
- ㊦ 問二 登場人物の様子から心情を類推する問題です。傍線部の前後に書いてある出来事にも注意しましょう。  
問三 自分の思いと洋子の行動を対比させるように書きましょう。  
問七 比喩表現を自分なりに具体化してから選択肢を読んでみましょう。
- 宿題 問四 色紙の言葉に対する思いを読みとります。  
問六 登場人物の設定についての問題ですが、さりげなく登場人物の情報が物語文には描かれているので、そこを見落とさないように気を付けましょう。

### ◆第6回 テーマ別読解演習「学校空間」②／物語文

今回も物語文の学習で、テーマは学校空間です。文章も長くなっているので、最後まで読み切る集中力が重要です。特に登場人物にはチェックをいれて、人間関係を明らかにしましょう。また、百字以内の長文記述問題の対応の仕方も学んでいきます。

- ⊙ 問三 具体化する問題です。傍線部の前後の出来事を確かめます。  
問七 百字以内でくわしく説明する問題です。傍線部に至るまでの登場人物の心情の変化を丁寧に追ってくわしく書くようにしましょう。  
問九 「思い切り雑巾をしぼった」という表現に注意して選択肢をよく読みましょう。
- ㊦ 問二 この理由記述も、出来事だけでなく、心情表現も書きましょう。  
問五 比喩的な内容をわかりやすい表現になおす問題です。その比喩表現を使ってなにが良かったかを考えて、正しい選択肢を選びましょう。  
問八 主題に関する問題です。文章全体の出来事をおさえて考えましょう。
- 宿題 問一 「値段まで」の「まで」という細部表現に注意して心情を読みとりましょう。  
問四 具体的な出来事を書きましょう。登場人物の会話もヒントになっています。

## ◆第7回 テーマ別読解演習「学校空間」③／物語文

前回に続き、今回も物語文の学習で、テーマは学校空間です。㊦では、主人公の心の成長が描かれている典型的な作品ですが、中にはQのように、ゆがんだ「友達づきあい」を描いた作品もありますので、注意しましょう。今回特に注意してほしい問題は、以下の通りです。

㊦ 問二 指示語に注意すると同時に、強調することで、どのようなことが読み取れるか考えます。

問五 単なる具体化の問題ではありません。設問の聞き方の「どのような意味がこめられていますか」に注意しましょう。

問七 理由記述です。傍線部までの出来事をたどって答えを作成しましょう。

Q 問二 比喩表現を具体化する問題です。まずは「だれ」をはっきりさせましょう。

問六 これも比喩表現の具体化の問題です。「亡霊」という表現の意図を考えましょう。

問七 理由記述の問題です。単に出来事だけでなく、それによってどのようなになったのかまでふみ込んで書きましょう

宿題 問七 「考えられますか」という聞き方は、はっきり文章に書いていないので、根拠をもとに類推して答えを書くようにします。

問八 文章の特徴を説明した文章については、消去法を使って考えます。

## ◆第8回 入試問題研究②

今回は入試問題研究です。入試問題を解くのですが、時間を計って、解答用紙に書き込みます。入試問題なので、前回同様、難問に時間をかけ過ぎずに、問題選定をしながら解く実践的な学習をします。今回も文章題が2題と語句が1題です。㊦から取り組む必要はありません。全体を見わたして、解きやすそうな問題から取り組みましょう。解答には配点を書いてあるので、WEBを見ながらマルつけをして、得点も出してみましょう。

㊦ 問二 比喩のねらいをしっかりと覚えて選択肢から選びましょう。

問五 この問題も比喩を具体化する問題です。

問十 正誤問題は、消去法を使い、本文の内容と照らし合わせながら考えましょう。

Q 問三 抽象を具体化する問題です。

問六 説明文では対比されて説明されることが多いので、何と何が対比されているかをおさえ、それぞれの特徴をおさえましょう。

問九 理由記述です。うまくまとめましょう。

- ・ Cの問題のように、与えられた条件をしっかりと覚えておく上で考える問題には注意しましょう。

5 年生後期で学習する単元は入試問題でもよく出題される単元が次々と出てきますので、しっかりととりくみましょう。

この講座は、日能研本科教室カリキュラムがベースになっています。本科教室で学んだことを深めることを目的にした講座となりますので、大切なことは、「本科教室をしっかりと理解した上で受講すること」です。この基礎にあたる部分を大切に、取り組むようにしてください。

動画の構成としては、まずは「例題」が各回 3～4 題収録されています。例題は動画を見ながら解法の手がかりとなる考え方を習得してください。例題の次には、練習問題として、例題の数値替えの問題が収録されています。機械的に数値を入れ替えて答えを出すのではなく、もう一度解法を確認しながら取り組むようにしてください。練成問題は、例題から派生した問題を中心に収録しています。このうち、例題から少し離れるタイプのうち、特に重要なものを動画で扱っています。

各回の学習の目安は以下の通りです。

## ◆第 5 回 規則性 I

数列の単元の中でも、増えていく数列がテーマです。数列は規則正しく並んでいる数の列が学ぶ対象になります。そのため、規則については皆さんが理解することが必要です。また、様々な規則がありますが、一番の基本は等差数列です。これについては、「□番目の求め方」「□番目までの和」は確実に理解をしておきましょう。

### ①「例題と練習問題」

#### 例題 1 一階差数列

隣り合う項との差が等差数列になっている数列を扱いました。初項からの増加分を考えると、等差数列の和を利用しました。こちらも理解を深めておきましょう。

#### 例題 2 等比数列

隣り合う項との比が一定である等比数列を扱いました。増加する数は一気に大きくなります。□番目を求めるときは、きちんと計算していきましょう。また、公比が 2 の等比数列の和の公式を扱いました。使用頻度が高いわけではありませんが、こちらも理解を深めておきましょう。

#### 例題 3 数表①（平方数に注目）

数表も問題を解く上でのポイントは「行き止まりに注目」することです。今回は平方数（四角数）に注目しました。考え方を理解して解くように心がけてください。

#### 例題 4 数表②（三角数に注目）

今回は三角数に注目して取り組みます。1 から順に足した和である三角数は、規則性の問題ではよく見かけます。慣れ親しんでおきましょう。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習問題に取り組んで、答え合わせをしましょう。そのとき、

間違っていたら、どこで間違えたかをよく理解して、再度解き直しをするということを徹底してください。疑問点があれば、再度例題の動画を見てみましょう。

## ②「練成問題」

練成問題では、いくつか選択して動画で扱っています。その問題についてはしっかりと理解をしましょう。余裕があれば、残りの問題にも取り組んでください。ただし、理解には段階があります。時期を経て再び扱う問題もあるので、全部解かないといけないと思う必要はありません。

## ◆第6回 規則性Ⅱ

数列の単元の中でも、周期に注目する数列がテーマです。今回は、問題文に規則がすでに示されている数列ではなく、自分で規則を見つけていく数列を中心に学びました。そのため、規則については皆さんが試行する中で発見していきましょう。

### ①「例題と練習問題」

#### 例題1－周期のある数列

2問とも、よく出題される問題です。途中過程で計算まちがいをすることなく、正確に周期を導きだしましょう。

#### 例題2－複数の周期①

赤は赤で、青は青で、黄は黄で周期があります。これらを最小公倍数で1つにまとめる作業が必要になります。そして、その新たな周期の中での規則は皆さんが作業していくことが必要です。

#### 例題3－複数の周期②

のべの考え方を使いながら取り組みます。この問題では出席番号と1週あたりの人数がそれぞれの周期にあたりますね。それがちょうど重なるということは・・・と考えていきましょう。

#### 例題4－複数の周期③

3の倍数は3ずつ増えていき、4の倍数は4ずつ増えていきますね。すると最小公倍数12ごとに周期ができることを理解してください。この問題では、「12で割ったときの余り」がくり返すことになります。数は増えていくことになるので、まちがえることのないように注意していきましょう。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習問題に取り組んで、答え合わせをしましょう。そのとき、間違っていたら、どこで間違えたかをよく理解して、再度解き直しをするということを徹底してください。疑問点があれば、再度例題の動画を見てみましょう。

## ②「練成問題」

練成問題では、いくつか選択して動画で扱っています。その問題についてはしっかりと理解をしましょう。余裕があれば、残りの問題にも取り組んでください。ただし、理解には段階があります。時期を経て再び扱う問題もあるので、全部解かないといけないと思う必要はありません。

## ◆第7回 割合と比Ⅰ

比を習得すると、解くことができる問題が大幅に増加します。習得するまではなかなか手ごわい單元ですが、一旦身につくと、これほど便利なツールはありません。皆さんもしっかりと取り組んでください。今回は、よく出題される問題に取り組んでいきましょう。

### ①「例題と練習問題」

#### 例題1－最簡形の利用

「5：2」という比を一旦具体数におきかえてみましょう。今回は50円と20円という最も簡単なモデルで考えてみて、実際の何倍であるかを考えることによって答えが導きだされます。

#### 例題2－比の合成

3種類の比が登場しますが、同じ量を表わすものに注目して同じ比に合わせます。この感覚が非常に大切になりますので、注意しながら取り組みましょう。

#### 例題3－狂った時計

正しい時計と狂った時計に進む速さの比はどの時間を切り取っても同じです。この関係を利用することが大切です。

#### 例題4－狂った巻尺

1目盛りあたりの長さの比を正しく理解することができるかが大きなポイントです。当然ですが、少ない目盛りしかかかれていないと1目盛りあたりの長さが長くなり、多くの目盛りがかかっていると1目盛りあたりの長さが短くなります。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習問題に取り組んで、答え合わせをしましょう。そのとき、間違っていたら、どこで間違えたかをよく理解して、再度解き直しをするということを徹底してください。疑問点があれば、再度例題の動画を見てみましょう。

### ②「練成問題」

練成問題では、いくつか選択して動画で扱っています。その問題についてはしっかりと理解をしましょう。余裕があれば、残りの問題にも取り組んでください。ただし、理解には段階があります。時期を経て再び扱う問題もあるので、全部解かないといけないと思う必要はありません。

## ◆第8回 割合と比Ⅱ

5年生の本科教室では出てきませんが、「ニュートン算」を学びます。増加分と減少分の2つの量の変化を追うことになりますので、はじめは理解が進まないかもしれませんが、練習を積むことによって、必ず習得できる單元でもあります。線分図のかき方などを理解して取り組みましょう。

### ①「例題と練習問題」

#### 例題1－ニュートン算①

「はじめの量」も「増加する量」も具体的に示されています。変化の様子をイメージすることで

まずはニュートン算の基本をおさえていきましょう。

#### 例題 2ーニュートン算②

「はじめの量」は具体的に示されていますが、「増加する量」は示されていませんね。2つの状況の差に注目して取り組んでいきましょう。

#### 例題 3ーニュートン算③

「増加する量」は具体的に示されていますが、「はじめの量」は示されていません。例題 2 と同じように 2 つの状況の差に注目して取り組んでいきましょう。

#### 例題 4ー場合の数の応用

「はじめの量」も「増加する量」も具体的に示されていません。「増加する量」と「減少する量」をそれぞれ①や□1のように比で考えていきます。2つの記号がでてきたら、それを1つにまとめることで基本のニュートン算へと変化していきます。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習問題に取り組んで、答え合わせをしましょう。そのとき、間違っていたら、どこで間違えたかをよく理解して、再度解き直しをするということを徹底してください。疑問点があれば、再度例題の動画を見てみましょう。

#### ②「練成問題」

練成問題では、いくつか選択して動画で扱っています。その問題についてはしっかりと理解をしましょう。余裕があれば、残りの問題にも取り組んでください。ただし、理解には段階があります。時期を経て再び扱う問題もあるので、全部解かないといけないと思う必要はありません。